

学生らのスピーチに聞き入る人々 25日、大阪市



# 私たちは歩み止めない

## シールズ関西が街頭宣伝

戦争法は成立しても自由と民主主義を実現する歩みは止まらないと、関西の学生でつくる「SEALDS KANSAI」(シールズ関西)自由と民主主義のための関西学生緊急行動)が25日、大阪・梅田で街頭宣伝しました。戦争法の強行成立後、初めての街頭宣伝にのべ4500人が集まりました。

塩田潤さん(24) 神戸大学大学院2年

は、これまで12回の街頭宣伝を通じ2万人の参加があったと述べ「どんな社会に生きるか、主権者として何をしなければならぬか、多くの人が気づき始めた。この動きは止まらない」と訴えました。

山口晶子さん(19) 神戸女学院大学2年

「私たちは賛成した議員の顔を忘れないし、彼らが今後政治家として活躍することを許さない」と語りました。 日本共産党の辰口孝太郎参院議員が、戦争

9/26 五旗

法廃止・集団的自衛権行使容認の「閣議決定」撤回のための「国民連合政府」をつくらうと呼びかけ、民主党の福山哲郎参院議員、岡野八代同志社大学教授らがマイクを持ちました。